

米国環境保護庁  
ワシントン, D.C.20460

大気放射局

2016年8月11日

ENERGY STAR® ディスプレイパートナーもしくはその他の関係社各位

ENERGY STAR ディスプレイバージョン 7.0 基準は 2016 年 7 月 1 日より施行となり、Keyboard-Video-Mouse (KVM)製品および Keyboard-Monitor-Mouse (KMM)製品が対象範囲内に含まれた。これらのモニタはキーボードおよびマウスと合体して、単数(KMM)または複数(KVM)のコンピュータまたはサーバとの入出力接続を可能にする。最近、ある関係者は、KVM/KMM 製品のバージョン 7.0 モニタデュティサイクルへの適用性に関して懸念を提起している。この関係者は、KVM/KMM の典型的な使用方法は、標準的なコンピュータモニタとは異なると主張している。

この関係者は、KVM/KMM 製品はスリープモード状態での時間は 95%を超え、TEC 計算式 (モニタの総電力使用量計算式) に記載の 65%を凌ぐと言及している。それらは、多くの場合サーバーラック (置き棚) に格納され、接続サーバのモニタリングおよび診断をする時のみ開けられ起動する。作業が終わると、ディスプレイは閉じられラック内にしまい込まれ、再びスリープモードに入る。

EPA は、関係者より KVM/KMM 製品の典型的な使用方法について、追加意見を求める。具体的には：

1. 製品の典型的な使用方法パターンは何か。
2. 製品の使用方法パターンに関する研究はあるか。
3. データセンター/ネットワーク室以外で KVM/KMM の有意な使用はあるか。
4. アプリケーションの違いで KVM/KMM を区別する方法はあるか。
5. KVM/KMM の運転モードは何か。
6. KVM/KMM はそれぞれ、これらのモードの状態が一日何時間か。
7. 典型的な KVM/KMM 2016-2017 モデルの平均スリープモードおよびオンモード消費電力はどれほどか。
8. KVM/KMM 製品の設計および製造リフレッシュサイクルは何か。それらは、典型的なコンピュータモニタおよびサインエージディスプレイとは異なるか。

関係者による意見の提出は、2016年9月9日までに、[displays@energystar.gov](mailto:displays@energystar.gov)へと EPA は要請している。

質問、意見は私 [Radulovic.Verena@epa.gov](mailto:Radulovic.Verena@epa.gov) または(202) 343-9845、Matt Malinowski

[matt.malinowski@icfi.com](mailto:matt.malinowski@icfi.com) または(202) 862-2693 に連絡のこと。

Best Regards,

Verena Radulovic, Product Manager

ENERGY STAR for Consumer Electronics